

都市再生整備計画 事後評価シート
町・戸島地区

令和2年2月

岡山県新庄村

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県	市町村名	新庄村	地区名	町・戸島地区		面積	27 ha
交付期間	H26～H30	事後評価実施時期	H31.4～R2.2	交付対象事業費	75,900,000	国費率	40	

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名							
	基幹事業		高質空間形成施設「桜生育環境整備」、地域生活基盤施設「駐車場整備」、地域生活基盤施設「ポケットパーク整備」							
	提案事業		まちづくり活動推進事業「観光ガイド育成」、まちづくり活動推進事業「研修会・ワークショップ」							
			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から削除した事業		基幹事業		高質空間形成施設「電線類地下埋設施設」、「カラ―舗装」、「照明施設整備」		地元住民、樹木医等も交え、がいせん桜への影響を鑑みた結果、電線地中化事業の取りやめにより削除。		ライフラインの安全性の向上がはかれないため指標に影響あり。	
			提案事業		地域創造支援事業「消防器庫移転整備」、「橋梁欄干美装整備」、「地区集会所整備」、「ケーブル機器・引込(民地)設置」		関係地区、団体との調整の結果、事業の取りやめにより削除。		景観向上がはかれないため指標に影響あり。	
新たに追加した事業		基幹事業								
		提案事業								
交付期間の変更		当初		変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	観光施設への入れ込み客数	人/年	12,080	H24	12,684	H30		15,189	120%	あり なし	桜生育環境整備により、花や紅葉に良い影響があった。観光客数が順調に増加した。	
指標2	景観及びまちづくりに関する満足度	%	51	H25	53	H30		53.7	101%	あり なし	駐車場整備や桜生育環境整備によって住民の満足度が上昇した。	
指標3	文化活動参加者数	人/年	0	H25	11	H30		25	227%	あり なし	住民にとって身近な桜について講演会を行ったおかげで目標値を上回る結果となった。	
指標4										あり なし		
指標5										あり なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

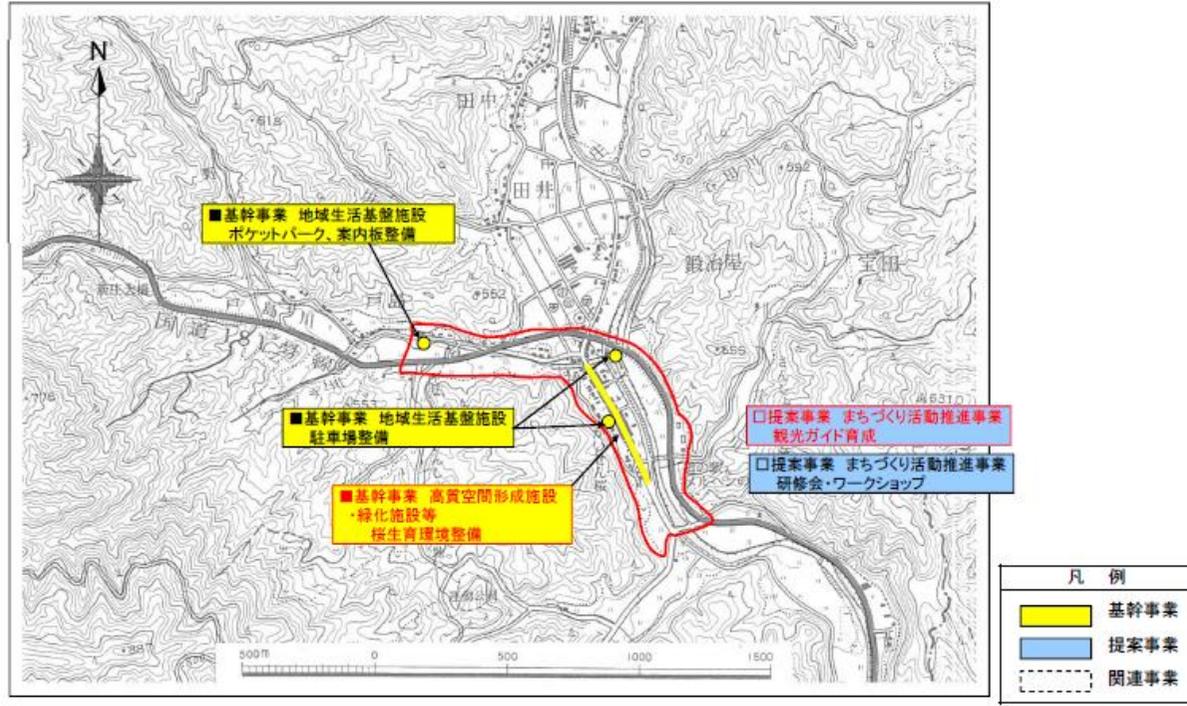
4) 定性的な効果発現状況

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた		
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2-2 地区の概要

町・戸島地区(岡山県新庄村) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 歴史と文化資源「出雲街道新庄宿」を活用した未来へつなぐまちづくり 目標1 旧出雲街道の歴史的な町並みとがいせん桜の景観整備により、観光資源としての魅力を向上する。 目標2 町並み環境の向上と安全性の強化により、地域住民の生活満足度の増加を図る。 目標3 歴史・文化資源を活用した地域住民活動の活性化を推進する。	観光施設への入れ込み客数	単位: 人/年	12,080 H24	12,684 H30	15,189 H31
	景観およびまちづくりに関する満足度	単位: %	51 H25	53 H30	53.7 H31
	文化活動参加者数	単位: 人/年	0 H25	11 H30	25 H30
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	桜の生育環境の整備により、樹勢が強まったおかげで葉が今まで以上に茂るようになった。しかし、その分近隣住民の方々には落葉掃除等の負担が増加した。住民の方々の、景観に関する意識が向上した結果、がいせん桜通り内の家用車の駐車場所等の問題が浮上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	住民アンケートによると、郷土記念物である「がいせん桜」についての満足度は向上した。しかし、がいせん桜のある通りについては、統一感のある町並みを求める声が多々あった。今後の方策としては、がいせん桜通りの景観のさらなる向上を図り、観光資源としての価値向上を継続して図っていく必要がある。空き家が増えつつある桜通りの将来に備えたランドデザインを策定し賑わいを創出するとともに、村民が住みやすく、ふるさとを誇れる地域づくりに取り組む。 ・出雲街道であった桜通りの歴史を踏まえた景観の統一 ・桜通りの景観を維持するために空家を活用 ・歩行者、車の導線を踏まえた道路の見直し